

エダマメ出荷開始

設備整え低温流通確立

J Aえちご上越

【えちご上越】J Aえちご上越管内で、園芸振興の重点品目に位置付けるエダマメの共販出荷が始まった。園芸拠点集出荷施設で選別から洗浄、袋詰めまで行い、県内外へ出荷する。2026年度は設備を増強し、鮮度を保って製品化するコールドチェーン（低温流通）体制を確立。販売額1億4000万円以上を目指す。

J Aエダマメ部会は、までに187トンの出荷
26年度、49人が約80トンを見込む。「味風香」
に作付けをし、9月末「新潟系14号」「越後

を迎える。

管内では栽培面積が
拡大していて、次年度
以降も出荷量が増える
見込みだ。このため、
J Aは新たに冷却水装
置や色彩選別機、コン
ピュータースケール包
装機などを導入。処理
能力は従来の約3倍に
なり、1時間に約90
0キログラムを袋に詰めら
れるようになった。

冷却水装置は水流式
洗浄機に冷水を4度供
給し、さやに付いた異

エダマメの選別作業を進める担当者ら（新潟県上越市で）



物の除去と冷却を同時
に進める。低温で品質

を維持したまま迅速に
製品化、流通させるこ
とが可能となった。
本年度は7月上旬に
同集出荷施設の稼働を
始めた。本格稼働とな
った8日には約6トンを
選別し、その様子を地
元のマスコミに公開し
た。

J A販売課の松内厚
園芸畜産担当課長は
「市場などの強い要望
でコールドチェーン体
制を整備した。高品質
なエダマメの安定出荷
で有利販売を進め、目
標販売額を達成し、農
家の所得向上に貢献し
たい」と語った。